

埼玉会だより

日退協

JARF



明けまして おめでとうございます

埼玉会代表幹事 石井 憲



会員の皆様、ご家族共々お健やかに新年をお迎えのことと拝察いたします。昨年を振り返ってみますとコロナ一色の未だ経験したことのない厳しい一年でした。

埼玉会も予定していたイベント、総会、講演会などの行事を中止せざるを得ない状況となり、会員の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。お詫び申し上げます。

ご承知のとおり、当協会の設立目的は社会貢献と会員間の親睦を図ることを二本柱としております。本年の本部方針は原点に立ち返り、特にSDGsを中心とした社会貢献事業を推進することを決定しました。(詳細はマチユリティ 112 号を参照ください。)

埼玉会としても、この方針に沿い、社会貢献活動をどのように取り組むか、何ができるかなど幹事会において、論議したいと思っております。

一方、会員間の懇親については、今年も会員の皆様が興味の持てる魅力あるイベント・講演会を企画しておりますので、会員の皆様のご友人知人をお誘い合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。(これから1年間の主な埼玉会イベントは下記に掲載しております。)

なお、イベント等の行事の開催に当たっては、コロナの感染状況等を勘案し、開催の可否を決めさせていただきますので、ご承知おき願います。

末筆となりましたが、会員の皆様並びにご家族の皆様の益々のご健勝と新型コロナの終息を祈念し、年頭の挨拶いたします。

2021 年度埼玉会のイベント(予定)案内

イベント責任者 菊池正美

2021 年度のイベント予定は次のとおりです。イベントごとに詳細なご案内をいたします。「参加」希望者は次ページ巻末の事務局まで①e-mail、又は②Fax でお申込下さい。

1. 2021.04.01(木) 元荒川桜堤&久伊豆神社
2. 2021.05.27(木) 定時総会&講演会
3. 2021.06.03(木) 見沼田んぼ散策
4. 2021.07.01(木) 大宮氷川神社&大宮公園散策
5. 2021.08.05(木) 納涼の会
6. 2021.09.02(木) 草加松原散策と煎餅博物館
7. 2021.11.04(木) 秩父シリーズ
8. 2021.12.02(木) 平林寺(金鳳平林禅寺)山の紅葉
9. 2022.01.06(木) 「初詣」鷲宮神社と「新年会」
10. 2022.02.16(水) 富士重工業埼玉製作所見学

丑年生まれの方からのひとこと

丑年を迎えて 鈴木 勇 (さいたま市)



1937年1月生まれで84歳に成りました。自分ではあまり意識していませんでしたが、今思うと長い人生だったと、あらためて思いました。若い頃は家族の為に夢中で働いてきましたが、今は自分の為に楽しい人生を過ごしたいと思っています。それは趣味のことです。今は写真を撮ることです。今から30年ほど前ですが、関根さん(顧問)に誘われたのが始まりで、今は生活の一部となっています。それは頭を使う(ポケ防止)、撮影の為に足を使うことです。充実した毎日を過ごしています。

7回目の年男 古谷 信雄 (川越市)



会員の皆様明けましておめでとう御座居ます。昨年来より続く厳しい世相も明るく吹き飛ばせるような1年に成り度いものですね。7回目とも成ると数々の印象深い事を思い出します。何と言っても戦争に伴う苦しい体験です。食べる物も無く配給チケットで得た黄色のコッペン(混ぜ物のトウモロコシやフスマ)を行列して求めたものです。

今でも思うに、日本人は何でこんな悲惨な事を仕たんだろうか?…と。日本人の勤勉さを世界に示すように復興の盛り上がりは多少の波はあったものの、懸命に努力すれば報われる社会に成れるのだと希望を持たせてくれました。しかしながら最近「市場原理主義」「新自由主義」とか弱者を追い込む生理的にも嫌悪する他人を押し除く競争社会が幅を効かせて来つつあります。特に気掛かりなのは、外国の営利企業に「水道の民営化」を許したり、植物の「種子」を外国の大企業に委ねねばならなくなるような法律の改悪、そして原子力の利用に関し、真に国民の為の方策と取り得るのかと言う懸念です。

誰かの言葉に「冷たい風が熱い心を育てる」と有りますが、世の動きをウォッチしながら今年1年を過し度いものです。

丑年に因んで 牛久保 功 (新座市)



菅原道真とゆかりのある全国の神社には牛の像が鎮座していますが、我が家にも50センチぐらいの大きな牛の置物があります。私が「丑年」の「おうし座」生まれで、名前が「牛久保」(逆さにすると僕牛となる)。

「牛」とは多少なりとも縁があることから、家では守り神のようにその置物を大事にしています。家族には今のところ大きな病がありませんが、さらなる健康を願って、今後も我が家の「撫で牛」にお参りを続けていきたいと思えます。(6回目の年男です)

6回目の年男 萩 莖 孝 (桶川市)



今年6回目の丑年を迎えました。昔から丑年の特徴は我慢(耐える)の年、発展の前触れ(芽生え)の年とか言われています。コロナ禍の今年はまさしく「耐える年」になりそうです。今年切望することは、家族はもとより友人知人が皆「健康」で過ごせること。コロナ禍が終息すること。もし出来るなら、月に2回程度3蜜に注意しゴルフを楽しみたいものです。

≪埼玉俳壇≫

めぐり会いし人と仰ぎぬ初日の出

地畑朝子

花言葉

葉牡丹



堰 (ペンネーム)

花のように見える部分は“葉っぱ”であり、花ではありません。本当の花は、春に茎がのびて、その先に“菜の花”のような黄色い花が咲きます。花姿が「牡丹」に似ています。

「幾重にも巻きたるレースの繊細さ

そとと撫でたき葉牡丹の花」 庄内拓明作

花言葉は、「祝福」「物事に動じない」「利益」です。正月飾りに人気があります。その利益を、常に最大に得るには知識に投資することだと言われます。今、緊急事態宣言下ではこの花の花言葉に教えられるところがありそうです。次回お会いする時は、一皮剥けて元気に再会しましょう。

ワンコイン運動報告

埼玉会の社会貢献活動のひとつとして続けているワンコイン運動、2019年度の皆さまからの浄財をこれまで同様、埼玉県社会福祉協議会の「ひまわり基金」にお届けしました。

同協議会のホームページに下記のとおり寄附金贈呈式の状況が紹介されましたのでご報告いたします。(事務局)

<埼玉県社会福祉協議会のホームページより抜粋>

令和2年11月17日(火)

この度公益社団法人日本産業退職者協会様より、寄付をいただきました。同協会は、多様なイベントや講演会活動を支援することにより、高齢者の積極的な社会参加を促し、高齢者の生きがいと心身の健康増進に寄与することを目的に活動されています。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも工夫を行いながら各種イベントを実施され、その際にワンコイン運動(募金)を実施し、本会へご寄付いただきました。本会への寄付は平成26年度から連続して7回目となります。

いただいた寄付金は、ボランティアグループ、NPO法人への活動助成、災害支援を行っている「ひまわり基金」へ積み立て、県内の福祉活動推進に役立てさせていただきます。

日本産業退職者協会様、ありがとうございました。



(左より)
社福協副会長 上木雄二
協会専務理事 石井 憲
兼埼玉会代表幹事



(前列左より)
埼玉会副代表幹事 関谷一郎
協会副会長 畠山忠昭
協会専務埼玉会代表幹事 石井 憲
協会理事埼玉会副代表幹事 菊池正美

(後列左より)
社福協総務・人事部長 家田祐介
次長 石山英雄
副会長 上木雄二
企画総務課長 大島聡志

(敬称略)

秩父札所巡りに参加して

三野昌代 (さいたま市)

楽しかった！ コロナ禍で閉じこもり生活の中でのイベント。倦みし心も身体も甦りました。

11月18日、快晴に恵まれた札所巡り。札所23番音楽堂へは駅からのバスを降りて坂道と階段上がると目の前正面に。しみじみとした佇まいは室町時代建立とか。振り返れば秩父盆地の街並みが眼下に広がり、その向こうには武甲山を中心とした山並みが一望でき、なんだか懐かしい原風景に出会えました。

ここで昼食をとり、次の札所24番法泉寺へ。ここからは細い巡礼道へ入り雑木林の中。足元は落ち葉の堆積でフカフカ。上り下りしながら、小川を渡り、右左に紅葉も観ながらの、ややきつい一時間あまりの歩行を楽しみました。

膝を少し心配しながらの参加でしたが皆さんと無事に歩き通せて、心地良い汗をかき、満足感・充実感を味わえました。

最後に「酒つくりの森」に立ち寄り見学と、お土産を手にして帰路につきました。大変楽しかったひと時でした。



会員の写真作品紹介コーナー

No.10 「能登の冬景色」

菊池正美 (上尾市)

冬の能登の撮影旅行に参加した際の作品
冬季の寒々とした感じを撮ったもの



いきいきシニアライフ

(発行者) 公益社団法人 日本産業退職者協会・埼玉会

事務局 畠山 忠昭

事務局 〒332-0031 川口市青木 1-22-17-902

TEL&FAX 048-259-5917

e-mail jarp_saitama@yahoo.co.jp

≪埼玉俳壇≫

生き残るたび秋の空深くなり

地畑朝子